

A B r i e f N o t e N o . 2 0 9

発行日：2011年7月21日

パソコン併設奮闘記

吹田市 輪 長司

1. チップ設計ミスと東日本大震災の工場被災で購入が半年遅れる

丸5年 Windows XP のパソコン (PC) を使い続けてきたが、今回 Windows 7 の PC を新たに買い足した。買った理由はデジタル写真をやるので、PC の容量と性能が限界になったためである。

今年の年明け1月に、インテル第二世代の i シリーズが出たため、これのハイエンドモデルを買い求めたが、納品直前にインテル製のボードが加熱する設計ミスが明らかになり、出荷が全世界的に全面停止になってしまった。このため注文を一旦キャンセルした。

正常品のボリューム出荷は4月頃だというので、やむを得ず3ヶ月待つて買いに行くと、今度は大容量の HDD が実装できないという。理由は東日本大震災で HDD の部品メーカーの工場が被災してしまったからだそうだ。2~3ヶ月待つてもらえば実装できるでしょうとの言葉に従い、6月に買いにいくと PC は既に夏モデルに変わってしまっていた。ああ〜

2. Windows 7 では動かないハード・ソフトが存在するため XP 機と併設する

Windows 7 は発売されて既に1年半になるけれど、Windows 7 の特徴である 64bit ネイティブ対応がなされているアプリケーションソフトは、未だに数えるほどしかない。

デジタル写真処理で定番の Photoshop は、既に Windows 7-64bit 対応がされているけれど、それ以外のソフトは Windows 7 で動くかどうかさえも定かではない。自分が PC で使いたいソフトは決まっているので、買い求めた PC は OS しか入っていない、ソフトが空っぽのカスタマイズモデルだった。このため常時使うソフトは、古い PC から新しい PC へ移植する必要があるのだけれど、これが一つ一つ正常に動くかどうか分からないのだ。

一方、フィルムを PC に取り込む、昔ながらのフィルムスキャナーを持っているのだけれど、その製品のスキャナーメーカーは Windows 7 のドライバーをサポートしないという。またインターフェイスも IEEE1394 で最新の PC には接続できない。ということはこのフィルムスキャナーを使い続けようと思えば、古い Windows XP の PC を使い続けなければならない。Windows 7 で動かないソフトも多々あることから、結局 Windows XP と Windows 7 の2種類の PC を併設する羽目になってしまった。

3. Windows 7 機へのハード・ソフトの移植作業は困難を極める

というわけでやっとの思いで Windows 7 の PC を購入したのだけれど、上記のような理由でハード、ソフトとも、一つ一つ引っかかってなかなか動かない。

先ず従来使っていたバックアップ用の外付け HDD を、Windows 7 の PC につなぎ変え

て認識させるのに一苦労した。また膨大なファイル容量のデジタル写真ファイルを、Windows XPのPCからWindows 7のPCへ、専用の転送ケーブルで移したのだけれど、このケーブルを相互のPCに認識させるのも大変で、これだけで半日もかかった。

デスクトップPCを2台併設するとなると、設置場所がかなり取られる。そこでディスプレイ、KB、マウスを1セットのみとし、切り替えて使う方法を考えた。幸いにも昨年買い換えたディスプレイには、アナログ、デジタルの2系統のインプットがあり、切替スイッチも内蔵されている。KB、マウスのほうは、自動切換え器を買い求めた。

早速Windows 7のPCをインストールすると、切替器経由では新しいマウスが使えない。PCメーカーに問い合わせると、そういう使い方は保証の限りではないという。今まで使ってきたWindows XPのPCの古いマウスでは動くので、仕方なくこれを使うことにする。

4. Windows 7は画像・映像系、XPはドキュメント系として使い分ける

当初の計画では、Windows XPでしか動かないハード・ソフト以外は、すべてWindows 7のPCに移植するつもりでいた。しかし様々な問題が存在し、Windows 7の使い勝手などから考えて、ドキュメント系は従来通りWindows XPを、写真などの画像とビデオなどの映像系はWindows 7をと、2種類のPCを用途に応じて使い分けることにした。メール関連などは従来通り、使い慣れたWindows XPのPCを使うことにした。このためプリンターも専用の手動切り替え器を新たに買い求めて、双方から使用可能にした。

聞けばMicrosoftは、Windows Vistaが重くて成功しなかったため、Windows 7のカーネル(中心部分)はシンプルなWindows XPのものに戻したという。このためWindows 7はインターネット対応の画像/映像が扱えるよう機能強化されているが、ドキュメント系ベースに設計されているWindows XPに、無理やり様々な厚化粧を施した印象は拭えない。

その点Windows XPはドキュメント系中心でシンプルで使いやすい。ドキュメント系中心の企業内PCではいまだにWindows XPオンリーだ。PCに余分な負担をかけないし安定している。こう考えるとWindows XPは良く出来た「名OS」と言えるだろう。

5. Windows 7の映像性能は向上しているが未だ様々な課題が多い

ところでWindows 7の得意技は画像系/映像系だけれど、最近ではテレビ系ネットワーク、i PoDや携帯などとの融合が進んでいて、何もかもつながる便利さが追求されている。

しかしながら、映像画質が良くなったとはいえ、大画面薄型テレビにはかなわないし、音質が良くなったとはいえ、オーディオ専用の機器にはかなわない。現実にWindows 7のPCのオーディオ出力端子に高級オーディオケーブルを接続して、オーディオ機器につないでみたが、今までよりは良くなってはいるが、通り一遍の音質だった。全てを追い求めると何もかも中途半端な存在になるだろう。

買ったPC特有の問題かもしれないけれど、Windows 7得意技のビデオ再生でDVDディスクにHD並みの高画質のAVCRECで録った再生がまったく不可能だった。メーカーに言

わせると、あまり普及していない記録方式だからだそうだけれど、何もかも対応するのであればそれを徹底するべきだと思う。この辺りが現在の PC 環境の限界かなと思われる。

また DVD/ブルーレイのコピー機能を、処理ソフトをインストールしてテストしてみた。DVD/ブルーレイの市販コンテンツのコピーは、様々なコピープロテクトを自動的に外し、わけなくコピーできたが、地デジ録画した自家製コンテンツは全くコピーできなかった。

6. Windows 7 はハイエンド PC とのバランスが良いようだ。

とはいえ今回 Windows 7 の PC を、デジタル写真の処理機として買ったのだけれど、今まで使っていた Windows XP のアナログ・ディスプレイに比べると一皮むけた画質だ。

特に装備している画像処理専用のグラフィック・ボードの性能向上が著しい。普及型 PC ではグラフィック・ボードは装備されていないが、上級機ではこれによって CPU から画像処理の負担を外し、CPU の性能がフルに発揮できる。画像・映像・動画の処理には強力だ。

今回買い求めた PC は、CPU がハイエンドの i7-2600(4 コア/8 スレッド)、メモリーが 12GB、HDD が 2 TB、グラフィックが AMD Radeon HD 6450(画像の発色が抜群)と、高排気量の車に乗った感じで余裕があり、速さも Windows XP の 10 倍程度は得られている。グラフィック・ボードも装備しているため、CPU の負担も少なく全くストレスを感じない。Windows 7 の OS はこのような CPU を前提に開発したのではないかと思える。 ♪♪

パソコン (PC) 構成図

